



# 図書・資料室だより



「運動」「芸術」そして「食」と意欲沸く季節の到来。  
しかし、秋は心身の変化や不調が出やすい時でもあります。  
いつまでも豊かで生き生きと自分らしくいるために、心や体に向き合ってみませんか。女性の心や体をテーマにした本を特集します。

## 心や体に向き合う本



### ◆体は全部知っている 吉本ばなな:著

心や体をテーマにした短編集。  
不思議な出来事をきっかけに、  
自分に向き合ったり、体を労ろう  
とする。心や体は正直にできてい  
ることに気づく。  
どのストーリーも、爽やかな風  
が通り過ぎていくように清々し  
い。



### ◆がんから始まる 岸本葉子:著

がんと診断されたら…どのように  
生き、何を考えるのか。  
岸本葉子さんは40歳の時に虫垂  
がんを診断された。手術を経て退院  
されたものの再発の不安を抱えなが  
らの生活。一人暮らしの闘病の中で、  
これからどう生きるか？こころの軌  
跡を綴る。

### ◆そろそろくる 中島たい子:著

仕事もちょっとうまくいっていない  
30歳過ぎのイラストレーターの  
「私」が感じる“そろそろくる”感。  
落ち着かなくてイライラな不快症状  
がやってくる…。  
女性の「生理」をテーマにした恋  
愛小説。



### ◆からだを感じよう 丸本百合子:著

ひとりとして同じ顔の人がい  
ないように、体にも個性がある。  
自分のからだを日頃からよく観  
察し、特徴をよく知ることで病  
気を防げることも。  
女性の思春期から更年期にか  
けて、心や体の変化に目を向け  
た本。

### ◆椅子がこわい 私の腰痛放浪記 夏樹静子:著

ある日、椅子に座るといことが  
できなくなってしまった! どう  
しようもない腰の痛みに悩まさ  
れ、心身にも影響がはじめて…。  
作家、夏樹静子が実際に経験し  
た原因不明の腰痛の辛さや恐怖、  
そして回復に至るまでを綴ったも  
の。



### ◆とっておきの日曜日 Vol.1~5 津田直美:著

休日をゆったりとすこ  
してみませんか?  
お菓子を作ったり、花  
や果実を育ててみたり、  
小物を可愛く整理をする  
方法など、お家でできる  
趣味やリラクセス法をイ  
ラストで紹介。  
自分の時間をじっくり  
ゆったり楽しむための絵  
本です。



# おすすめの1冊

『哲学する父(わたし)たちの語り  
 ダウン症・自閉症の娘(あなた)との暮らし』  
 竹内章郎・藤谷秀:著 生活思想社 2013年



障がいのある娘をもつ2人の父親が、娘との日常について、それぞれの思いをまとめたもの。竹内さんと藤谷さんは同年代、大学で哲学を研究し、3児の父親、娘さんたちは現在30代前半とかなり共通点の多いお二人。しかし、娘さんの障がいは種類や程度も違う。障がいが重くても軽くても、それぞれ深い悩みや大変さがあるのだということが、お二人の中で論点として持ちあがり、刊行のきっかけとなった。

また本書では、父親の子育て、社会の中での障がい者を見る目、「障がい」という言葉のもつ意味など、固定されたイメージや枠によって生じる意識や差別についての哲学的な論考にも納得させられます。



## 過去の新聞からPICK UP!

### 【「日本女性会議」リハーサル】

10月に開催される「日本女性会議 2003 おおつ」のリハーサルが津市内の各会場で行われた。

日本女性会議は昭和50年の国際婦人年などを記念し、昭和59年に名古屋市で初開催。以来、市民と行政の協力で毎年開かれている。

この日のリハーサルでは、オープニング式典の時間を図りながら段取りを調整した。その後、グループごとに打ち合わせをし、昼には、実際に会議参加者に提供するお弁当を試食するなどした。(2003年9月30日 産経新聞)



### 図書・資料室では

「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

「滋賀県の男女共同参画社会づくり」に関する新聞記事1冊

## 男女共同参画社会で育む... 絵本・子どもの本



### ◆ あらじんのまほう ◆

あらじん:作 はなもとゆきの:絵

バレード 2012年

だれもが生まれてきたことに意味がある。

大切な命、人生。

自身の幼い頃の辛い体験を通して、気づいたこと、伝えたいことがいっぱいあった著者・あらじんさんの半生を描いた絵本です。



### ♪ひとこと♪

今月のテーマは「心と体」です。

作者たちの心と体にまつわる経験や思いを、ご自身に重ね合わせながら読書してみるのは、いかがでしょうか？新しい発見や癒しが生まれるかも？

### ...図書・資料室 ご利用案内...

開室時間 9:00~17:00

9月の休室日 1日、8日、16日、22日、24日、29日

貸出 本・雑誌: 15冊 3週間

ビデオ: 2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。

この本、読んでみて! **図書・資料室だより**

何度も読み返したい、  
一度は読んでおきたい

**“とっておきの本”**

暑い夏、ちょっと体を休めて、一冊の本をじっくり読んでみませんか?

時が経っても読み継がれている本、辛いときや悩んだ時に読み返したくなるような本、何度もリタイアした一度は読んでおきたい本など・・・図書・資料室が選ぶ“とっておきの本”をご紹介します。

**はな 涙をたらした神**

吉野せい:著 1975

開拓農民であり詩人でもあった夫と結婚した著者が、開拓生活での暮らしを16の短編集にしたもの。苦闘の開墾生活の中で、日々感じる自然や生き物への感謝、子どもへの愛情や悲しみ等を感じるままに表現。

自然に対峙し、その日その日を精一杯生きている生活者の実感が込められている。



いのちの女たちへ  
とり乱しウーマン・リブ論  
田中美津

**いのちの女たちへ とり乱しウーマン・リブ論**

田中美津:著 2004(増補新装版)

1970年代ウーマン・リブの先駆である田中美津さんの代表作。しなやかな感性、飾らない言葉が、女の本音や怒りをこれでもかと引き出す。女性解放運動を学ぶなら一度は読んでおきたい本。

**苦海浄土 わが水俣病**

石牟礼道子:著 1972

昭和28年、人間が作り出した公害という犯罪・水俣病。著者がその被害者たちと向き合い、悲しみや怒りを自らの痛みと受け取り書き綴った作品。



**モモ**

ミヒヤエル・エンデ:作 1976

必死で時間を切り詰めて、追い立てられるように生きてきた人間が、突然自分の大切な時間を奪われたとしたらどうするか。ある時自分の時間を盗まれる陰謀に巻き込まれた主人公モモは、どんな風に自分の時間を取り戻すことができたのでしょうか?この謎めいた世界を貴方も体験してみませんか?



**沈黙の春**

レイチェル・カーソン:著 2001

化学薬品の乱用が自然破壊と人体を蝕むという警告を発した、先駆者カーソンの代表作。原著は1962年刊行。

便利で快適な生活を求めた代償は、とてつもなく大きい。

**窓ぎわのトットちゃん**

黒柳徹子:著 1981

小学校入学早々退学を言い渡され転校することになったトットちゃん。知りたがりやで好奇心旺盛のトットちゃんは、古い電車が教室という風変わりな学校にすっかり魅せられ、ワクワク!ユニークな先生や新しい友だちとの学校生活の始まりです!

黒柳徹子さんの自伝小説。



**父と暮らせば**

井上ひさし:著 1998

広島への原爆投下ですべての身寄りを失った美津江。あの日から3年、美津江はある人に思いを募らせていた。

そんなある日、亡くなったはずの父・竹造が現れた。娘の幸せを願う竹造に頑なに反発する美津江。実は、竹造は美津江の相反する心の葛藤から出現した幻であり、あの日からずっと美津江は「自分は幸せになってはいけない」と戒めていた。

あの日何があったのか・・・「竹造」によって、美津江は徐々に心を解きほぐしていく。



# おすすめの1冊



## 『ペコロスの母に会いに行く』

岡野雄一：著 西日本新聞社 2012年

当時62歳の漫画家・岡野雄一さんが、認知症を患う母との日常を描いたクスツと笑える、それでいて少し切ないマンガ短編集。2012年に映画化されています。

認知症が進行し、少しずついろんなことを忘れていく母・みつえさんは、時々少女や若き日の母に戻ってしまう。そんな様子に軽くツツコミをいれつつも、そっと見守っている岡野さん。戦争、原爆、酒癖の悪い夫…辛く悲しいことも喜びもたくさんあった母の人生を辿り、自身の幼き頃の思い出と重ね合わせていく。

長崎の人々の言葉と柔らかいタッチの絵に癒され、ホロリと涙がたつう作品です。



## 過去の新聞からPICK UP!

### 【結婚、介護で意見交換

#### 若者らライフスタイル探る】

ライフスタイルを考える討論会「若者ジェンダーフェスタ自分らしさってなんだ？」が県立男女共同参画センターで開かれ、県内の若者を中心に約200人が参加、これからの結婚や介護のあり方を探った。

結婚では「女性も結婚後も経済的に自立したい」「相手の女性にも経済力を求めたい」「パートナーとは家事を分担したい」、また介護では「親との同居は考えられない」「自分の親と同様にパートナーの親の面倒を見ようと思える気持ち」などが大切などの意見が出た。

深江助教授は「これからの結婚には、嫁しゅうとめといった関係でなくお互い一人ひとりの人間として友情を築くことが求められているのでは」と語った。

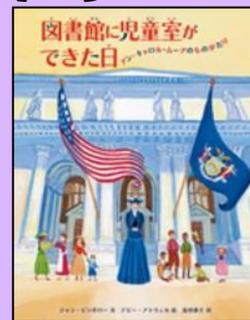
(2003年8月23日 京都新聞)



図書・資料室では「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

滋賀県男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

## …男女共同参画社会で育む… 絵本・子どもの本



### 『図書館に児童室ができた日』

アン・キャロル・ムーアのもものがたり

ジャン・ピンボロー：文 デビー・アトウェル：絵

張替恵子：訳 徳間書店 2013年

今から100年くらい前のアメリカでのこと。

自分の考えをしっかりと持った女の子アンは、大人になって、専門の勉強をして図書館員になりました。やがてアンはニューヨークの図書館に子どものための図書室を作ることを任せられました。それは子どもたちが自由に好きな本を読むことができるすばらしい図書室だったのです!

子どもたちに夢と希望を広めた一人の女性の生涯を描いたお話です。

### …図書・資料室 ご利用案内…

**開室時間** 9:00~17:00

**8月の休室日** 4日、11日、18日、25日

**貸出** 本・雑誌：15冊 3週間

ビデオ：2本 1週間

**TEL** 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



### ♪ひとこと♪

子どもの頃に何度も読んだ本や感動した本、いつまでも胸に残っていませんか？読み返してみると子ども心に感じたことをふっと思い出します。読書は一人ひとりの感情や記憶までも一緒に蘇らせてくれる特別なものだなあと思います。



# 図書・資料室だより



## “今を生きる女性たち”

「女性の活躍」「女子会」「理系女子」をはじめとした「〇〇女子」など、「女性」をキーワードにした内容やネーミングをメディアや世間でよく見聞きします。

今回はあらゆる世代の女性たちの「今」をテーマに、女性の実情や人間関係、生き方を模索する本をご紹介します。



### 『女子会 2.0』 「ジレンマ+」編集部:編 NHK 出版 2013年

社会学者、ジャーナリスト、女性誌ライターなど専門家として現在活躍中の女性たち5人が、恋愛や結婚、仕事など女性の生き方の変遷をそれぞれの専門分野から鋭く分析。そこに黒一点、社会学者の古市憲寿さんも参加させられ(?)「男子」としての意見を添えています。

現代日本「女子」について、その置かれている状況が幅広く把握できる一冊です。



### 『女子読みのススメ』

貴戸理恵:著 岩波書店 2013年

10代の少女たちの学校や恋愛、友情、人生など、日常で向き合う悩みや経験を描いた小説を紹介し、今を生きる若い女性たちの希望やしんどさといった心情を読み解く。



### 『女友だち』 木村榮:著 フェミックス 2012年

著者木村さんが大切にしてきた女友だち関係。緩やかな関係の中にもお互いに支え合う大切な存在たち。日々の中で感じる想いを綴る。

### 『日本女性はどこにいるのか イメージとアイデンティティの政治』

北村文:著 勁草書房 2009年

「日本女性」ってどんな女性だろう? イメージと現実の違いを政治的、人類的、国際的といったあらゆる点から考える。



### 『生活保護とあたし』

和久井みちる:著 あけび書房 2012年

生活保護を受給していた著者が、その日々の暮らしと胸の内を明かす。

### 『女たちの21世紀』

No.73 2013年3月発行

特集:生活保護

社会保障制度の現状と課題を女性の貧困問題を中心に特集。高齢者、障害者、性的マイノリティ、外国人などあらゆる立場の人々にとってより良い社会保障とは?



### 『わたしは甘えているのでしょうか? 27歳・OL』

村上龍:著 青春出版社 2006年

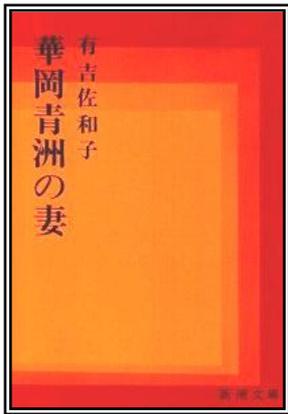
20代・30代の女性たちの「切実な悩み」仕事、恋愛、これからのこと。

### 『恋愛不安』

香山リカ:著 講談社 2004年

楽しいはずの恋愛が心を不安定にする。恋愛と心の間を考える。

# おすすめの1冊



## 『華岡青洲の妻』

有吉佐和子:著 新潮社 (新潮文庫) 1970年

有吉佐和子さんは今年、没後30年を迎えます。

『恍惚の人』『複合汚染』など社会派作家としても有名ですが、「男が書きもらしているところを女が書き改めなくては」(※)と女性の側から見た歴史をハストリー(Her-story)と名づけて、女性視点の歴史を描くことを意識して作品に向き合われました。

本書は、世界最初の全身麻酔による手術に成功した外科医・華岡青洲の妻の側から描いたもの。青洲の功績の陰には、自らの身を人体実験に捧げた妻と母の存在があった。夫、息子の成功を心から望みながらも敵対する嫁姑。封建社会における「家」という枠の中で葛藤する女性たちの心情を細やかに描いた作品です。

※『作家の自伝109 有吉佐和子』より



## 過去の新聞からPICK UP!

### 【「男女共同参画へまだ厚い壁」】

各分野の女性たちが、古川研二草津市長(2001年当時)と意見交換する「くさつ女性なんでもトーク」が市役所で開かれた。家庭や地域での男女共同参画や、市民と行政のパートナーシップについて、女性たちが率直な意見を述べた。

家庭や地域などでの男女共同参画について「町内会などでまだまだ女性は意見を出しにくい」と社会的な壁の厚さを指摘しつつ、「一人では弱くても少しずつ広げれば強い力になる」と決意を表した。市長も市の担当者の支援を約束した。市民と行政のパートナーシップでは問題発生時の対応などで市役所の縦割り行政が改善されていないことを指摘。市長も縦割りの体質が残っていることを認めていた。

(2001年7月17日 京都新聞)



図書・資料室では「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

滋賀県男女共同参画社会づくり推進協議会

## …男女共同参画社会で育む… 絵本・子どもの本



### 『しげるのかあちゃん』

城ノ内まつ子:作 大畑いくの:絵  
岩崎書店 2012年

しげるのかあちゃんは、2トントラックを乗り回し、あらゆる工具を使いこなす頼もしいかあちゃん。その上、おしゃれでとってもかっこいい！ある日のこと、プールに出かけたら隣のたこ焼き屋さんが火事！かあちゃんはみんなに声をかけて、消火活動を率先してやり抜きます。

自分のやりたいこと、思ったことを周りの目を気にせずやれるって、すごく勇気があること。女性、母親という枠にはまらない自分らしさが大事ということを教えてくれる絵本です。

## …図書・資料室 ご利用案内…

開室時間 9:00~17:00

7月の休室日 7日、14日、22日、28日

貸出 本・雑誌: 15冊 3週間

ビデオ: 2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



### ♪ひとこと♪

子どもの頃、親から「女性らしく」としなめられたことがあり、なんとなく素直に受け入れられませんでした。今思うと、「自分らしくいたい！」と幼いながらの反発心の現れだったのかな？と思います。



# 図書・資料室だより



お父さん!

## 「パパチカラ」発揮していますか?



『イクメンで行こう！  
育児も仕事も充実させる生き方』  
渥美由喜：著 日本経済新聞社  
2010年

「イクメン」の名づけ親かもしれないという渥美由喜さんが「イクメン」を一過性の流行だけに終わらせたくない！という思いから執筆された本書。

育児も仕事も充実させる生き方を、架空のキャラクター平さん家の日常をエピソードに、イクメン的生き方を紹介。

育児参画する男性が増えることで、地域活性化の切り札になるという期待を込めて「地域社会での子育て支援」についても力説されています。

男性目線の育児を悲喜交々に語るエッセイとしても楽しく読むことができます！



『ふたりの子育てルール  
「ありがとう」の一言から始まる  
いい関係』  
治部 れんげ：著 PHP 研究所  
2012年

「子育ては大変だけれど、ふたりで協力する育児はすごく楽しい」という結論を導き出した共働き夫婦の新しい生活提案を紹介。

夫婦の協力体制やコミュニケーション、望ましい職場のあり方について考えられています。



『絵本であそぼ！』  
パパ's 絵本プロジェクト  
安藤哲也・金柿秀幸・田中尚人：共著 小学館 2005年

育児に関わる現役のパパさん3人が選んだ絵本ガイドブック。

「子どもにウケる」とこと、お父さんが楽しみながら読むことに焦点を当てて選ばれた絵本がたくさん！

「絵本を遊ぶ、読む楽しみ」をお父さんにもお子さんにも味わってほしいという思いから、3人のパパさんたちの子育て経験や子どもの頃の思い出を交えて絵本を紹介されています。

是非、絵本で遊んでみてください！

### キーワード【男女共同参画週間】とは？

「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成に向け、男女共同参画社会基本法（平成11年6月23日法律第78号）の目的及び基本理念に関する国民の理解を深めるため、「男女共同参画週間」を設ける。」

内閣府男女共同参画局サイトより

平成26年度「男女共同参画週間」  
期間：6月23日(月)～29日(日)  
キッズフレースは：「家事場のパパチカラ」



# おすすめの1冊



## 『海女、このすばらしき人たち』

川口 祐二：著 北斗書房 2013年

日本が世界に誇る漁撈文化の一つ「海女漁業」。その歴史はとても古く『万葉集』には海女のことを詠んだ歌もあるようです。

日本各地で活躍する海女さんたちを訪ねた本書には、現役海女の中では最高齢の方や、海女志願された東京の方などが登場します。

冷たい海の中で、身一つで漁をする海女たち。乱獲を防ぐためウエットスーツの着用を禁じられている地域では、昔ながらの白木綿の磯着で海に入ることもあるという。身の危険を常に感じながらの環境は苦労話も数知れず。

それでも海女という仕事への誇りと喜びを持っている姿、語りに頼もしさが感じられます。

著者の川口祐二さんは三重大学で「海女研究会」に所属されています。

## 過去の新聞からPICK UP!

### 【女性が元気 相次ぎ起業】

「滋賀の食文化を豊かに」。そんな思いを持った女性が、無農薬や無添加の食材を使ったレストランやパンの店を県内で相次いで開業している。いずれも30~40代。生活拠点のある地域に店を構え、食材業者と利用者とのパイプ役を担うなど、独自の取り組みも生まれている。(中略) 相次ぐ開業の背景には伝統的な食材や料理を意味する「スローフード」の定着もあるといわれる。「とらばーゆ関西版」黒田編集長は「大切にしているのは自分らしさ。自分の視点を尊重し、働くことが、生きている実感の確認や自分探しにつながっている」と分析する。(2004年6月13日 京都新聞)



図書・資料室では「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事「女性活躍のニュース」を1998年3月よりファイル保存しています。

## …男女共同参画社会で育む… 絵本・子どもの本



### 『パパ・カレー』

武田美穂：作 ほるぷ出版 2011年

今日はパパがカレーを作るので、「パパ・カレー」！パパさんは手しか登場しません。でも、とっても楽しんでカレーを作っている様子が目に浮かびます。

思わずカレーが作りたくなってしまいう絵本です。

## …図書・資料室 ご利用案内…

**開室時間** 9:00~17:00

**6月の休室日** 2日、9日、16日、23日、30日

**貸出** 本・雑誌：15冊 3週間

ビデオ：2本 1週間

**TEL** 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



### ♪ひとこと♪

梅雨の季節を彩る紫陽花。フランスの花言葉は「元気な女性」だそうです。フランスのアルカリ性土壌によってピンク色に色づいた紫陽花が元気な女性を連想させることからきているようです。



# 図書・資料室だより

## 働く女性応援BOOKS 2014年版



『働く女！ワーキングマザーの自分時間の作り方』 草野亜弓：著

仕事と家事をこなしながら自分時間を保ちたい！これから仕事をしてみようかな？という方におすすめの本。今の生活時間を見直してみると…意外にも空いている時間が見つかるかも？



『がんばった分だけ認められる女子の仕事術』 千葉のり子：著

「頑張っているのになんだかなあ…」と思い悩んでいる方、本書の「基本ルール」を実践してみたいかがでしょうか？48項目どれか一つでも試してみるなど、出来そうな項目から、はじめてみるのもよい方法です。



『女性の健康と働き方マニュアル』 女性の健康とメノポーズ協会：編著

女性は年齢を重ねるごとに体調や生活が変化し、また仕事への向き合い方も多様になります。本書は、女性の健康と働き方について年代別にまとめられています。その年代に合わせた生活習慣の見直しや体調面の解説がとてわかりやすく書かれています。



『さあ、育休後からはじめよう 働くママへの応援歌』 山口理栄・新田香織：著

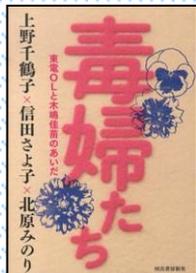
もうすぐ職場復帰、子育てしながら以前のような働き方はできるのか？不安や心配がたくさんあると思います。復帰後の仕事への向き合い方はもちろん、保育園、学校との関わり方、支援できる制度や法律について詳しく解説されています。

## 新・着・図・書



『ヤマネコ・ドーム』 津島佑子：著

戦後、社会から放置されてしまった戦争孤児たちの生き抜く様子を東日本大震災にまで及んで描く。戦争や災害によって置き去りにされてしまった個人の心を深く描いた作品。



『毒婦たち。東電OLと木嶋佳苗のあいだ』 上野千鶴子・信田さよ子・北原みのり：著

社会学者、臨床心理士、コラムニストら、各界で活躍中の女性3人がそれぞれの専門的立場から「女の殺人事件」を語る。



『福島原発事故と女たち』 近藤和子他：編

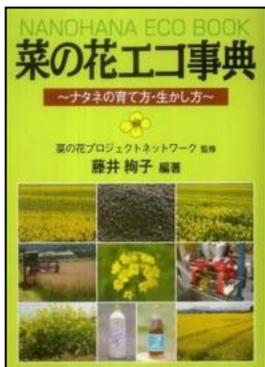
「福島の女たち」という言葉に遭遇たび一括りにされてしまい、大事なことが見えなくなっていくのではないか—そのような思いを寄せた人々で作られた福島の今を伝える本。



『ジェンダー論をつかむ』 千田由紀他：著

家族、労働、教育などあらゆることに存在するジェンダー的視点を理解しやすくまとめた本書。ジェンダーとは何か？がわかる本です。

# 滋賀発信！ おすすめの1冊



『菜の花エコ事典 ~ナタネの育て方・生かし方~』  
藤井絢子:編著 菜の花プロジェクトネットワーク:監修

菜の花といえば、長閑に咲く春の花として代表的な植物ですが、実は「偉大な力」を秘めた花なのです。

菜の花の種はなたね油という食用油としてよく知られていますが、その廃食油を回収して再び資源として利用する資源循環システムを構築し、地域モデルとして広めていく活動をされているのが「菜の花プロジェクト」。地域で誰もが参加できるエコ活動として滋賀県愛東町(現・東近江市)から発信され、全国に共感と広がりを見せています。

本書は、このプロジェクト代表の藤井絢子さんが菜の花栽培から、バイオエネルギーとしての活用方法、菜の花料理、全国の地域活動などを詳細に紹介しています。

菜の花から生まれる大きな未来と平和、この花の存在が大きくなる事典です。

## 10年前の新聞からPICK UP!

【オール主婦 情熱のオール】  
朝日レガッタマスターズの部

クルー4人の漕ぎ手は主婦ばかり。そんなボートクルーが3日、大津市玉野浦の滋賀県立琵琶湖漕艇場で開催中の第57回朝日レガッタで全国デビューした。滋賀県と京都府の30~60歳代の女性13人でつくる「BLクラブ」のメンバー。88年に開かれた女性向けボート教室に参加した有志が結成した。関西ボート連盟によると主婦だけのクルーが全国大会に出るのは珍しいという。

(2004年5月4日 朝日新聞より)



オール主婦 情熱のオール

朝日レガッタマスターズの部  
平均53歳クルー  
4人のメンバーは主婦ばかり。そんなボートクルーが3日、大津市玉野浦の滋賀県立琵琶湖漕艇場で開催中の第57回朝日レガッタで全国デビューした。滋賀県と京都府の30~60歳代の女性13人でつくる「BLクラブ」のメンバー。88年に開かれた女性向けボート教室に参加した有志が結成した。関西ボート連盟によると主婦だけのクルーが全国大会に出るのは珍しいという。

図書・資料室では「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

## 男女共同参画社会で育む... 絵本・子どもの本



『れんちゃんのぼうけん』  
武藤洋子：作・絵 文芸社

お花が大好きな男の子のはなし。  
れんちゃんはお母さんと一緒にお花の世話をしていました。そこへお花のようせいさんがあらわれて、れんちゃんはお花の世界へぼうけんにでかけることに！  
ふんわり華やかな、ぼうけんのはじまりです！

### 図書・資料室 ご利用案内...

開室時間 9:00~17:00

5月の休室日 7日、12日、19日、26日

貸出 本・雑誌: 15冊 3週間

ビデオ: 2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)  
0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



### ひとこと

環境の変化や寒暖の差が激しくて、この時期は体調を崩しやすいですね。休日の予定はほどほどにして爽やかな季節をゆっくりとたのみましょう。(に)



この本、  
読んでみて!

# 図書・資料室だより

## ★2013年★ ベストリーダー

2013/3/1～2014/2/28 の1年間に最も多く貸出された本をご紹介します

### 一般図書部門

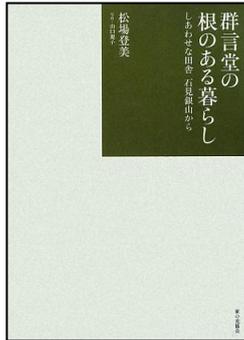
『群言堂の根のある暮らし』  
松葉登美:著

『みんな「おひとりさま」』  
上野千鶴子:著

『新島八重 愛と戦いの生涯』  
吉海直人:著

『このまま 100歳までおいしゅうございます』  
岸朝子:著

『山形ガールズ農場!』  
菜穂子:著



『群言堂の根のある暮らし』 松葉登美:著

人口わずか400人の町、島根県大田市大森町(石見銀山)で、衣食住のスタイルブランドを展開する「群言堂」。その設立者である松葉登美さんの著書。

島根の山間地の小さなお店に年間10万人が訪れるその訳とは? 地域活性化の成功例として今も注目されている「群言堂」のものづくり精神を紹介している。

『みんな「おひとりさま」』 上野千鶴子:著

年を重ねるにつれて浮上してくるいろいろな老後の問題。その時どうするか? 「おひとりさま」ならではの対処法を上野千鶴子さんが提案。

「個人」として人生の道先を考えるための「おひとりさま」シリーズ第3弾。



### 絵本・児童書部門

『メガネかけたら』  
くすのきしげのり:作

『虫めずる姫の冒険』  
芝田勝茂:著

『まわるおすし』  
長谷川義史:作

『おでこびたっ』  
竹内祐人:作

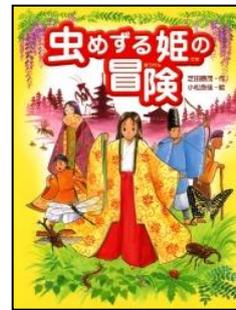
『いいから いいから 2』  
長谷川義史:作



『メガネかけたら』  
くすのきしげのり:作

メガネをかけるのを嫌がる女の子。思い切ってメガネをかけて登校したら、いろんなことが見えてきた!

周囲の反応を意識する子どもたちに、思いやりの心をもつことの大切さを伝えるお話です。



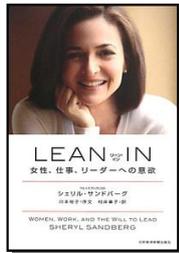
『虫めずる姫の冒険』  
芝田勝茂:著

虫が大好きで虫のことをよく知っている「虫めずるお姫さま」の冒険ストーリー。

虫の生態を理解しながら、冒険、ファンタジーとしても楽しく読み進められるお話です。

## ・ ・ ・ ・ 新着図書のおしらせ ・ ・ ・ ・

『LEAN IN  
女性、仕事、リーダーへの意欲』  
シェリル・サンドバーグ:著  
日本経済新聞出版 2013  
フェイスブックのCOOが女性の社会進出やキャリア形成について語る



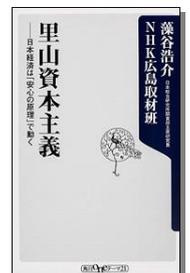
『翻訳がつくる日本語  
ヒロインは女ことばを話し続ける』  
中村桃子:著 現代書館 2013  
洋画の登場人物たちの話し方や方言などによって性別や人種を強調、固定化してしまう。  
翻訳から日本語を考える。



『ゆうじょう』  
村田喜代子:著 新潮社 2013  
明治変革期、遊郭の女性たちはついにストライキを引き起こす。遊郭に売られてきた娘イチを中心に女性たちの様々な生き様を描く。



『里山資本主義』  
藻谷浩介:著 角川書店 2013  
里山には生きていくために必要な資本がある。  
今、話題の里山資源の活かし方。



# おすすめの1冊



## Cinema Library シネマライブラリー vol. 11

### 『女性映画が面白い』2013年版

小藤田千栄子 他:著 パド・ウィメンズ・オフィス 2013年

「女性映画」専門のシネマ情報誌です。(年1回発行)

前年に公開された国内外の女性監督作品や話題の男性監督作品を、映画業界に携わる女性たちがそれぞれの視点で語ります。

あらすじや映画の見どころ紹介だけでなく、監督の作品や人柄、女性視点、ジェンダーに焦点をあてた解説に、はっと気づかされることも。

作品を観る前、観た後も、ご一読をおすすめします！

## 10年前の新聞からPICK UP!



### 【彦根のNPO「ぼぼハウス」共生型ケアへ活動拠点】

#### 誰もが気軽に集まって

介護ヘルパーなどの派遣をしている彦根市の民間非営利団体(NPO)「ぼぼハウス」の拠点が小泉町に完成した。

ぼぼハウスは1999年に結成し2年後にNPO法人の認証を受けた。お年寄りや子ども、障害者が集い、支え合う「共生型ケア」を目指した取り組みは県内初の試みだという。

(2004年4月5日)

中日新聞



「滋賀県の男女共同参画社会づくり」

#### 図書・資料室では

「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

### …図書・資料室 ご利用案内…

**開室時間** 9:00~17:00

**4月の休室日** 7日、14日、21日、\*22日、28日、30日

\*印は施設設備総合点検日のため休室させていただきます

**貸出** 本・雑誌: 15冊 3週間

ビデオ: 2本 1週間

**TEL** 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)

## …男女共同参画社会で育む… 絵本・子どもの本



### 『ごきぶりねえさん どこいくの?』

M・アーザード: 再話

モルテザー・ザーヘディ: 絵

愛甲恵子: 訳

ブルース・インターアクションズ 2006年

自立するための旅に出た、ごきぶりねえさん。行き先々で、怖い目に遭い、いろいろな虫や動物たちに誘惑されながらも、目指す街へと旅を続けます。たどり着いた街で、仕事を持つことの喜び、女性も自立し自信を持つことの大切さを知るごきぶりねえさん。イランでよく知られた昔話です。



### ♪ひとこと♪

入学、進学、就職、就任など人生の節目にあたることの多い季節。これからどんな出会いや出来事が待っているのでしょうか。

新しいことを受け入れる気持ちを大切にしていきたいと思います。(に)